

## 6 日本経済の動向 Developments in the Japanese Economy

### (1) 景気の変化 Change of the Economic Condition

	景気 Business cycle	主な出来事 Incident	実質経済 成長率 (%) Real GDP Growth	消費者 物価指数 (前年比%) Consumer Price Index (Change from previous year)	公定歩合 (年末値) (年率%) Central bank discount rate (end of year)
1972	昭和 47	46年12月～48年11月 (列島改造ブーム) 1973.10. 第1次石油危機	9.0	4.9	4.25
73	48		8.8	11.7	9.00
74	49		▲0.1	23.2	9.00
75	50	50年3月～52年1月 (好況) 1975.11. 第1回サミット(ランブイエ)	4.4	11.7	6.50
76	51		2.9	9.4	6.50
77	52		4.0	8.1	4.25
78	53	52年10月～55年2月 (好況) 1979.11. 第2次石油危機	5.3	4.2	3.50
79	54		6.5	3.7	6.25
1980	55		1.1	7.7	7.25
81	56	58年2月～60年6月 (ハイテク景気) 1985.9. G5ブラザ合意	2.9	4.9	5.50
82	57		2.8	2.8	5.50
83	58		1.6	1.9	5.00
84	59	61年11月～平3年2月 (バブル景気) 1990.8. イラクのクウェート侵攻	3.1	2.3	5.00
85	60		5.1	2.0	5.00
86	61		3.0	0.6	3.00
87	62	61年11月～平3年2月 (バブル景気) 1990.8. イラクのクウェート侵攻	3.8	0.1	2.50
88	63		6.8	0.7	2.50
89	平成元		5.3	2.3	4.25
1990	2	1991.1. 湾岸戦争勃発 1993.12. ガットウルグアイ・ラウンド交渉妥結	5.2	3.1	6.00
91	3		3.4	3.3	4.50
92	4		1.0	1.6	3.25
93	5	5年10月～9年5月 (カンフル景気) 1997.7. アジア通貨・金融危機発生	0.2	1.3	1.75
94	6		1.1	0.7	1.75
95	7		1.9	▲0.1	0.50
96	8	11年1月～12年11月 (IT景気) 2001.9. 米国同時多発テロ事件発生	2.6	0.1	0.50
97	9		1.6	1.8	0.50
98	10		▲2.0	0.6	0.50
99	11	2003.3. イラク戦争 2006.7. 日銀、ゼロ金利解除	▲0.2	▲0.3	0.50
2000	12		2.3	▲0.7	0.50
01	13		0.4	▲0.7	0.10
02	14	14年1月～19年10月 (いざなぎ景気) 2007.8. 米国サブプライムローン危機勃発	0.3	▲0.9	0.10
03	15		1.7	▲0.3	0.10
04	16		2.4	0.0	0.10
05	17	2008.9. リーマン・ショック 2009.10. 欧州債務危機勃発	1.3	▲0.3	0.10
06	18		1.7	0.3	0.40
07	19		2.2	0.0	0.75
08	20	2011.3. 東日本大震災 2014.3. ロシア、ウクライナ南部クリミアを編入	▲1.0	1.4	0.30
09	21		▲5.5	▲1.4	0.30
2010	22		4.7	▲0.7	0.30
11	23		▲0.5	▲0.3	0.30
12	24		1.7	0.0	0.30
13	25		1.4	0.4	0.30
14	26		0.0	2.7	0.30
15	27		0.4	0.8	0.30

Notes : 1. 実質経済成長率は、80年までは68SNA・90暦年基準、81年以降は93SNA・95暦年基準、1995年以降は連鎖方式による

Real GDP growth was calculated by the SNA68 on the 1990 calendar-year basis until 1980; by the SNA93 on the 1995 calendar-year basis in and after 1981; and by the chain method in and after 1995.

2. 消費者物価指数は05年暦年基準

Consumer Price Index is on the 2005 calendar-year basis.

Source : 内閣府 資料(旧経済企画庁「国民経済計算年報」、旧総務庁「消費者物価指数年報」含む)、日本銀行「物価指数月報」「経済統計年報」等より作成

Compiled from data available from Cabinet Office (including the ex-Economic Planning Agency's "Annual Report on National Accounts" and the ex-Management and Coordination Agency's "Annual Report on the Consumer Price Index"), BOJ's "Price Indexes Monthly" and "Economic Statistics Annual," etc.

## (2) 基調判断の変化 Assessment of the Current State of the Economy

報告月	主な 該当月	基調判断	輸出	輸入
2014年 1月	2013年 11月	景気は、緩やかに回復している。	このところ弱含んでいる。	持ち直している。
2月	12月	//	横ばいとなっている。	//
3月	2014年 1月	景気は、緩やかに回復している。また、消費税率引上げに伴う駆け込み需要が強まっている。	//	このところ増加している。
4月	2月	景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。	//	このところ増勢が鈍化している。
5月	3月	//	//	横ばいとなっている。
6月	4月	//	//	このところ弱含んでいる。
7月	5月	景気は、緩やかな回復基調が続いており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつある。	//	//
8月	6月	//	//	//
9月	7月	景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	//	//
10月	8月	景気は、このところ弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	//	//
11月	9月	景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	//	おおむね横ばいとなっている。
12月	10月	//	//	//
2015年 1月	11月	//	//	//
2月	12月	//	このところ持ち直しの動きがみられる。	//
3月	2015年 1月	景気は、企業部門に改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続いている。	//	//
4月	2月	//	//	//
5月	3月	景気は、緩やかな回復基調が続いている。	おおむね横ばいとなっている。	//
6月	4月	//	//	//
7月	5月	//	//	//
8月	6月	景気は、このところ改善テンポにばらつきもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	このところ弱含んでいる。	このところ弱含んでいる。
9月	7月	景気は、このところ一部に鈍い動きもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	//	//
10月	8月	景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	//	//
11月	9月	//	弱含んでいる。	おおむね横ばいとなっている。
12月	10月	//	//	//

Source: 内閣府「月例経済報告」より作成  
Compiled from Cabinet Office's Monthly Economic Report